

日本光学会フェローの新設のご案内と候補者推薦のお願い

日本光学会では会員表彰制度の一環として、2026年度から「日本光学会フェロー」を新設することになりました。本表彰制度は、本会における継続的な活動を通じて、光学の発展に顕著な業績をあげた日本光学会正会員に対し、その功績を称えるとともに、もって、本会を代表するにふさわしいリーダーシップの発揮を奨励することを目的としております。推薦にあたりましては、下記にご留意いただくとともに、日本光学会フェロー表彰規程をご覧ください。

1. 表彰対象業績

光学の分野において、学術・研究活動、産業技術の開発・育成、教育・公益活動を通じて、光学の発展に貢献した顕著な業績

2. 表彰対象者

本会における継続的な活動を通じて上記の業績をあげた、推薦時に在籍累計年数10年以上の本会正会員個人

3. 候補者の推薦方法

- ・候補者および推薦者は候補推薦時に在籍累計年数10年以上の本会正会員でなければなりません。
- ・推薦時および理事会決定時に在任中の日本光学会役員（理事・監事）およびフェロー表彰候補者選考委員会委員長・委員は、フェロー表彰候補者、フェロー表彰候補者推薦者、フェロー表彰候補者の推薦協力者になることはできません。
- ・推薦者は推薦書を作成し、期日までに提出してください。フェロー候補者推薦書は日本光学会 HP よりダウンロードしてください。
- ・候補者の推薦にご協力いただける方（推薦協力者）2名を選び、協力を依頼してください。推薦協力者の方には公募締切後に事務局より別途連絡を行い、推薦協力シートの記入を依頼します。推薦協力者の少なくとも1名は候補者と異なる所属機関（大学、企業、独法など）から選んでください。

4. 推薦書提出期間

2026年1月1日(木)～2月28日(土) 必着

5. 提出方法および提出先

「フェロー表彰候補者推薦書在中」と朱記して下記「日本光学会事務局」に郵送。

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル7階

(有) 学術新報社内 日本光学会事務局

問合せ先： 日本光学会事務局 info@myosj.or.jp

日本光学会第10回定期総会議事録

日 時： 2025年3月29日(土) 15:00～16:00

場 所： Zoom ミーティングにより実施

出席社員数（議決権行使・委任状を含む）： 297名

議 事： 総会成立の確認

- ・現会員数に対し過半数の定足数を満足したことが報告され、本総会の成立が確認された。

1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ、承認された。

1-1 第10期事業報告

- ・第9期総会、4回の理事会、6回の総務委員会、および、賞選考委員会の開催が報告された。
- ・第10期（2024年1月1日～2024年12月31日）の事業について報告された。

1-2 第10期決算報告

- ・第10期の決算について報告された。

1-3 監事報告

- ・事業報告および決算関係資料について監査した結果、適正であるとの報告がなされた。

2. 第2号議案（役員改選）

- ・任期満了にともなう理事と監事の改選をおこなった。以下の14名の理事と1名の監事が指名され、承認された。

理事： 芦原 聡、栗辻安浩、伊藤雅英、大竹基之、大谷幸利、加納英明、川田善正、桑田宗晴、鈴木裕之、谷田 純、槌田博文、的場 修、宮本洋子、山口 進

監事： 志村 努

3. 報告事項

- ・第11期事業計画が報告された。
- ・第11期予算計画が報告された。

第75回総務委員会議事要録

日 時： 2025年5月24日(土) 13:10～16:00

場 所： Web 会議（Zoom）

出席者： 大谷幸利会長、ほか16名

1. 審議事項

- ・2025年度の体制について議論された。
- ・第50回光学シンポジウムの開催概要について議論された。
- ・OPJ 2025の開催に向けた準備状況について議論された。
- ・OPJ 2026の会場に関する検討状況について議論された。
- ・第52回冬期講習会の開催に向けた検討状況について議論された。
- ・会計・財務の現状および今後の取り組みについて議論された。
- ・海外学会との連携について議論された。

2. 報告事項

- ・「光学」「Optical Review」の現況について
- ・会員情報について

2025 年度光学奨励賞

2025 年度光学奨励賞は選考委員会による審査の結果、該当者なしと決定いたしました。

選考委員は以下の通りでした。

委員長：小倉裕介（大阪大学）

選考委員：金 蓮花（山梨大学）、瀧口 優（浜松ホトニクス）、新岡宏彦（九州大学）、藤村隆史（宇都宮大学）、和田 篤（防衛大学校）

2025 年度コニカミノルタ光みらい奨励金

日本光学会では、光科学技術の新産業に結びつけていくことができる独創的な研究を支援することを目的として、「新産業創出に向けた独創的な研究への奨励金—コニカミノルタ光みらい奨励金—」を設け、募集ならびに選考を行いました。その結果、本年度の採択者を以下のとおり決定いたしました。

○コニカミノルタ光みらい若手奨励金 1件（30万円）
村上優介氏（筑波大学）

「可視共鳴 CARS 顕微分光法の開発による生体内分子の高感度・高速可視化」

○コニカミノルタ光みらい学生奨励金 3件（5万円）
檜垣将之氏（徳島大学）

「モード制御によるファイバー光コム駆動型テラヘルツシンセサイザー技術の開発」

山本悠貴氏（大阪大学）

「強度輸送方程式と偏光カメラを用いたシングルショットベクトル光波面センシング」

米山裕貴氏（東京大学）

「大規模神経活動計測・操作に向けた広視野ホログラ

フィック2光子顕微鏡の開発」

選考委員は以下の通りでした。

委員長：福武直樹（ニコン）

委員：足立俊輔（京都大学）、大舘 暁（産業技術総合研究所）、辻野賢治（東京女子医科大学）、藤 貴夫（豊田工業大学）、巻田修一（筑波大学）、三上秀治（北海道大学）

光学・フォトンクス設計と製造に関する国際学会

ODF'26, Toyama

ODF は、世界の光学技術者の皆様が日頃の研究成果を発表・議論する場を設け、光学設計分野の研究推進に寄与することを目的として開催されています。皆さまの論文投稿と参加を心よりお待ちしております。

期 日：2026 年 6 月 3 日（水）～5 日（金）

場 所：富山国際会議場

主 催：日本光学会光設計研究グループ

カテゴリー：Category 1. Optical Design / Simulation / Fabrication, Category 2. Optical Components / Devices, Category 3. Optical Systems, Category 4. New Technologies

投稿受付：2025 年 8 月 4 日～2026 年 1 月 10 日 ※投稿締切が延長されました

応募資格：無し（どなたでも応募できます）

発表方法：口頭講演もしくはポスター

問合せ先：プロアクティブ社 林剛志

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-10 ユニコム人形町ビル 4F

電話 03-3669-6161 Fax 03-3669-6162

E-mail odf26@pacmice.jp URL <http://www.odf.jp/>

「第7回 PhotonicsChallenge 2026 光で、挑む」コンテスト開催

エントリー受付中（最優秀ビジネス賞：賞金 100 万円ほか）。光技術およびその応用を通して、社会に新たな価値または変革を生み出そうとする事業プランを全国から募集します。

主 催：光産業創成大学院大学（静岡県浜松市）

協 賛：日本光学会

募集期間：2025 年 11 月 1 日～2026 年 2 月 1 日（メール必着）

対 象：学生アイデア部門（年齢不問）、ビジネス部門（スタートアップや中小企業、起業予定者）

表 彰：最優秀賞 ビジネス賞 100 万円、チャレンジ賞

80 万円, ほか
URL・詳細: <https://www.gpi.ac.jp/challenge/>

JOEM 技術講座「光学系基礎理論」

日 時: 2026 年 1 月 14 日, 21 日, 28 日, 2 月 4 日 (隔週水曜, 計 4 日間) 10:00~17:00 (新型コロナウイルス感染症の状況および対面希望者数によってオンラインへ切替)
場 所: ハイブリッド形式 (対面+オンライン), 対面は機械振興会館別館 4 階, オンラインは Microsoft Teams 使用
主 催: 日本オプトメカトロニクス協会
協 賛: 日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術振興協会

参加費: 協賛 132,770 円 (テキスト代・消費税含)
定 員: 35 名 (対面は先着順 16 名, 対面 / オンラインは申込時に選択)
申込期限: 2026 年 1 月 5 日 (月) 定員になり次第締切
問合せ先: 日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp URL <https://www.joem.jp>

ご 逝 去

ご逝去の訃音に接し, これまでの本会へのご貢献に感謝申し上げますとともに, 謹んで哀悼の意を表します.

会員番号	氏名	ご所属	ご逝去年月日
00368E	矢島達夫	東京大学名誉教授	2025 年 10 月 22 日

日本光学会 *news* の掲載申込先:
日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp
メールの件名に「日本光学会 *news* 原稿」と記載してください.
なお, 掲載申込は原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで, 開催日が 1~10 日の場合は, 開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします.
掲載にあたっては, 「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください.

「レーザー研究」第 53 巻第 10 号 (2025 年 10 月号) 目次
「回折光学素子とその応用」特集号

レーザーコンパス
異分野連携のプラットフォーム 豊田周平 (529)
《特集》
レーザー解説
「回折光学素子とその応用」特集号によせて 本越伸二 (531)
回折光学素子を用いたパターン整形と 3 次元計測 川島勇人 (532)
ホログラフィック光学素子を用いたコンタクトレンズ型ディスプレイ 高木康博 (537)
回折光学素子のヘッドマウントディスプレイへの応用 小村真一 (541)
Diffractive Optical Elements for High-Energy and Intense Laser Applications Thierry BERTHOUD, Stéphane TISSERAND, Vincent SAUGET, Sophie GAUTIER (547)

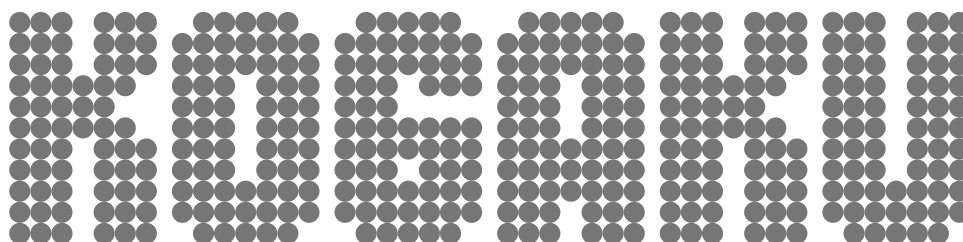
レーザーオリジナル
オゾン混合気体を用いた回折光学素子 道根百合奈, 米田仁紀 (554)
レーザーフラッシュ
Report on the 14th Advanced Lasers and Photon Sciences (ALPS2025) in OPTICS & PHOTONICS International Congress 2025 Hitoki YONEDA, Hiyori UEHARA, Yurina MICHINE (559)
CLEO/Europe-EQEC 2025 会議報告参加, 及び光科学研究機関訪問報告 桐山博光 (561)
著者紹介 (564)
セルフフォーカス (566)
レーザーワード (536, 546)

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2025 年 10 月 10 日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	チームオプト株式会社
アンシス・ジャパン株式会社	中央精機株式会社
市光工業株式会社	中国レーザー雑誌社
ウシオ電機株式会社	株式会社東芝
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エビデント	株式会社トプコン
株式会社エンプラス研究所	株式会社ナック イメージテクノロジー
オーウエル株式会社	株式会社ニコン
オプトシリウス株式会社	株式会社ニデック
株式会社オプトロニクス社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
オリンパス株式会社	日本シノプシス合同会社
キャノン株式会社	日本真空光学株式会社
京セラ SOC 株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社清原光学	浜松ホトニクス株式会社
株式会社光学技研	株式会社日立製作所
興和株式会社	華為技術日本株式会社
株式会社五藤光学研究所	Phase One Japan 株式会社
コニカミノルタ株式会社	富士フイルム株式会社
株式会社三恵舎	古野電気株式会社
株式会社シグマ	株式会社ミットヨ
小米日本合同会社	三菱ケミカル株式会社
株式会社スカイテクノロジー	株式会社メニコン
ソーラボジャパン株式会社	株式会社リコー
株式会社タムロン	

以上 会員数 47 社, 62 口 (五十音順)



推薦募集中

2025年 日本の光学研究

一般社団法人 日本光学会 機関誌「光学」特別企画

1. 研究分野

光物理 / 結像素子・光学機器 / X線光学 / 分光 / レーザー / 量子光学・非線形光学 / 近接場光学 / 光応用計測 / 干渉計測 / 光情報処理 / 画像処理 / オプトエレクトロニクス・光デバイス / 光通信 / 光記録 / 視覚光学 / 光源・測光・照明 / 医学・生物応用光学 / 光学教育など

2. 推薦対象

- ・2025年1～12月に公開 (publish) された日本の研究グループが発表した論文です。
- ・公開日が「オンライン」と「紙面」に分かれる場合、公開が早い日付を対象とします。
- ・原則として査読付き論文を対象とします。
- ・他薦にてお願い致します。
- ・プレプリント論文・査読前論文については、公開済みであったとしても、本採択となつてからの内容を推薦対象とします。
- ・分野 13. 光通信：国際会議 ECOC, OFC, CLEO のポストデッドラインペーパーも推薦対象とします。
- ・分野 18. 光学教育：学会発表も推薦対象とします。

3. 推薦方法

- ・以下 URL または右の QR コードからアクセスできる入力フォームより必要事項をお送りください。

<https://forms.gle/D3UZWsB7thmaY8Sz5>



- ※ 推薦者の①メールアドレス ②氏名 ③所属 ④分野番号、推薦する論文の⑤タイトル ⑥著者名 ⑦雑誌名 ⑧巻 (号), ページ, 年 ⑨論文へのリンクまたは DOI ⑩論文概要と推薦理由 (200 文字以内)
- ※ 推薦フォームへの入力が難しい場合、上記情報を下記アドレス宛にメールにてご提出いただいても結構です。

4. 締め切り

2026 年1月5日 (月)

5. その他

- ・掲載する研究は、推薦された研究の中から、「光学」編集委員会が設けた選定委員会で決定されます。推薦者のお名前が掲載されることはありません。また、推薦者に記事の執筆を依頼することはありません。

一般社団法人 日本光学会「光学」編集委員会
「2025 年 日本の光学研究」選定委員会委員長
堅直也 (九州大学) tate@ed.kyushu-u.ac.jp

2026
6
VOL.55

※ 掲載予定



15th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication

“ODF’26, Toyama”

June 3rd-5th, 2026, Toyama International Conference Center, Toyama, Japan



投稿論文募集！締め切り間近！

CALL FOR PAPERS

INTRODUCTION

The 15th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication “ODF’26, Toyama” will be held on June 3rd-5th, 2026. Optics-photonics design and fabrication will continue to play an important role in the 21st century achieving harmony between technology and the environment. ODF’26 is intended to provide an international forum for original paper presentations and discussions of optics-photonics design and fabrication-related technological and scientific topics. These topics include theory, design, fabrication, testing, applications, and others.

SCOPE OF THE CONFERENCE

Special Session: Future Optics–Photonics Highlighted at Japan’s Expo 2025

Category 1. Optical Design / Simulation / Fabrication

Lens Design, Lens Design Theory,
Illumination Simulation,
Non-imaging Optics Design, Freeform Optics,
Simulation Software, Fabrication and Testing

Category 2. Optical Components / Devices

Laser, LED, OLED, Detector, Image sensor,
DOE/HOE, Thin Film, Coating, Optical Waveguide,
Optical Fiber, Integrated Optoelectronic Device,
Active Optical Component, Optical MEMS,
Photonic Crystal, Device Fabrication

Category 3. Optical Systems

Camera, Microscopy, Display, Projector,
Optical Data Storage, Optical Lithography,
Illumination Optics, 3D Image Acquisition,
3D Display, VR/AR, LiDAR, Automotive Optics,
Biomedical Optics, Optofluidics, Optical
Measurement, Optical Sensing, Spectroscopy

Category 4. New Technologies

AI Optics (Machine Learning, etc.), Computational
Imaging and Sensing, Single pixel imaging, Digital
Holography, CGH, Nonlinear Optics, Ultrafast Optics,
Metamaterial, Plasmonics, Near-Field Optics, Quantum
Optics, Nano Structures, Optical Cloaking, Other Future
Technologies in Optical Design and Fabrication

PREPARATION OF ABSTRACTS AND MANUSCRIPTS

A limited number of original contributed papers covering unpublished work will be accepted for presentation. Authors are required to submit papers consisting of a 35-word abstract and a 2-page manuscript in the prescribed form. The form can be downloaded from the conference website. Papers must be submitted online. Please see the ODF’26 website for details of the submission procedure. Authors are required to agree to copyright transfer by including a completed form when submitting papers.

In Cooperation with (to be confirmed)

COS · IEICE · IEIJ · JIEP · ITE · JOEM · JOMA · JPS ·
JSMBE · Japan Photonics Council · JSPE · LSJ · OITDA ·
OSK · SID Japan Chapter · SPIJ · The Color Science Association
of Japan · The Spectroscopical Society of Japan · TPS

Registration fee (JPY)

	Member*	Non-Member	Student
Before/ on April 30 th **	JPY 50,000	JPY 55,000	JPY 10,000
After April 30 th **	JPY 55,000	JPY 60,000	JPY 10,000

[*] Member of sponsor and cooperative society, [**] Japan Standard Time (JST, UTC+9)

Paper Submission Period: Aug. 4th – Jan. 10th, 2026(extended)

<http://www.odf.jp/>

odf26@pacmice.jp